

田島支援学校版(生活)

小学部・中学部・高等部 学習段階表

令和4年 3月発行(第1版)

川崎市立田島支援学校

		1段階		2段階		3段階		項目	小学校・小学部	中学校への接続
項目		内容		内容		内容		項目		
思考 判断 力 表現 力 等 ・ 知識 技能	基本 的な 生活 習慣 に関 する 内容	ア 基本 的 生 活 習 慣	食事や用便等の生活習慣に関わる初歩的な学習活動		食事、用便、清潔等の基本的生活習慣に関わる学習活動		身の回りの整理や身なりなどの基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動		ア 基本 的 生 活 習 慣	生活
			項目	(ア) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動すること。 (イ) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けること。	項目	(ア) 必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとする事 こと。 (イ) 身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けること。	項目	(ア) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとする事 こと。 (イ) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けること。		
			学習 内容	【食事】食事前の手洗いや配膳、食後の片付けをする 【用便】尿意や便意を伝えようとする事、用便の手順に沿って用を 足す、用後は手を洗う 【寝起き】一人で布団に入り就寝する 【清潔】洗面、歯磨き、タオルで拭く 【身の回りの整理】持ち物の整理、自分の衣服や靴など自分の使っ た物の整理や、決められた場所に置く 【身なり】簡単な衣服の着脱や、長靴等の身に付け方	学習 内容	【食事】食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど、食事のマ ナーや態度について分かる 【用便】男女の便所を区別する、鍵をかけることなど、一連の流れと 共に基本的な方法や 態度を身に付ける 【寝起き】定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをすることなど の規則正しい生活を意識する 【清潔】汚れた衣服を着替えるなどの身体各部や衣服の汚れが理 解できる 【身の回りの整理】ハンガーに掛けるなどの整理の仕方や収納場 所や収納の方法などが分かる 【身なり】衣服の前後や裏表が分かる、着脱後の簡単な確認をする など、身なりについて自分で気付く	学習 内容	【食事】一人で食事することとともに、準備や片付けなど、一連の活 動を友達と協力して行う 【用便】トイレにおけるいろいろな種類の鍵の使用法を知る、援助が なくても自分で用を足すことができる 【寝起き】自分で寝床を準備したり片付けたりするなど、一人で できることを増やす 【清潔】簡単な洗濯をする、入浴時に身体各部の洗い方やふき方 が分かるなど、自分から清潔を意識して 活動に取り組む 【身の回りの整理】靴や衣服などの整理をすることや、かばんや文 具などの収納場所や収納方法が分かり 整理整頓を行おうとする 【身なり】そで口や襟もと、すそを整えるなどの身だしなみを整えよう とする		
	食事 /用便 /寝起き /清潔 /身の回り の整理 /身なり		食事 /用便 /寝起き /清潔 /身の回り の整理 /身なり		食事 /用便 /寝起き /清潔 /身の回り の整理 /身なり		食事 /用便 /寝起き /清潔 /身の回り の整理 /身なり			
	単元 例		単元 例		単元 例		単元 例			

		小学部				
		1段階	2段階	3段階	項目	小学校・小学部
項目		内容			内容	
基本的な生活習慣に関する内容 ウ 日課・予定 ※「予定」は2段階から	日課に沿って教師と共にする学習活動	絵や写真カードなどを手掛かりにして、見通しをもち主体的に取り組むことなどに関わる学習活動			一週間程度の予定、学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動	
	項目	(ア)身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一緒に日課に沿って行動しようとする事。 (イ)簡単な日課について、関心をもつこと。	(ア)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとする事。 (イ)身近な日課・予定について知ること。	(ア)日常生活の日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって行動しようとする事。 (イ)日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けること。	項目	
	学習内容	【日課】教師と同じような行動を教師からの言葉掛けを聞いたり、手をとってもらったりしながら、それらに従って一緒に行動することにより、簡単な日課に気付き、行動しようとする	・身近な日課や予定が分かり、次第に見通しをもって行動できるようになる 【日課】教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をやるのかが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できる 【予定】下校後は何をやるのか、また、明日の予定などを取り扱うこととして、児童が身近な予定が分かり、見通しをもって過ごすことができるようになる 長期休みの目標をたてよう：遊ぶ、食べる、寝るなどのイラストカードから1枚選択。教員と一緒に発表する。 保護者から写真やコメントをいただく。	【日課・予定】一週間程度の予定が分かり、カレンダーや予定表を見て学校行事や家庭の予定などに従って行動すること、都合により予定が変更する場合に対応できる	学習内容	生活・算数(小学校・小学部) ウ 日課・予定
単元例		単元例	単元例	単元例		

思考力
判断力
表現力等
知識技能

		小学部							
		1段階	2段階		3段階				
項目		内容			内容	項目	小学校・小学部への接続		
思考 判断 力 表現 力 等 知識 技能	生活 や 家 庭 に 関 する 内 容	エ 遊び		生活		エ 遊び	生活		
		いろいろな遊び/遊具の後片付け		いろいろな遊び/遊具の後片付け				いろいろな遊び/遊具の後片付け	
		<p>自分で好きな遊びをすることなどに関わる学習活動</p> <p>項目 (ア) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすること。 (イ) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつこと。</p> <p>学習内容 【いろいろな遊び】提示された遊びを見る。同じ教室で遊ぶ。自分の好きな遊びをする、教師とごっこ遊びをする。 【遊具の後片付け】教師と一緒に遊具を片付けること、自分から片付けること</p> <p>単元例 《主な遊び、遊具》 バランスボール、パラシュート、新聞紙、ブランコや滑り台、三輪車、ジェルボール、キックスケーター など 『夏祭り』 ・水鉄砲で射的、ストラックアウト、輪投げ、スイカ割りなど 『iPadを使ってみよう』 ・写真を撮る、アプリで遊ぶ</p>		<p>教師や友達と簡単な遊びをすることなどに関わる学習活動</p> <p>項目 (ア) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすること。 (イ) 簡単なきまりのある遊びについて知ること。</p> <p>学習内容 ・教師や友達と一緒に関わりを楽しみながら簡単なきまりのある遊びをする 【いろいろな遊び】教師や友達と、鬼ごっこ等の簡単なルールのある遊びや大きく身体活動ができる遊具を活用した遊びをする、遊具を順番に共有する。 【遊具の後片付け】自分で使った遊具を片付ける、友達と一緒に大きな物を協力しながら運び収納できる</p> <p>単元例 《主な遊び、遊具》 しっぽ取り、ボーリング、爆弾ゲーム、ポッチャ、段ボール崩し、ブランコ・三輪車・キックスケーター など 『順番を守って遊ぼう』 ・顔写真で示された順番で、遊具を貸し借りして遊ぶ。</p>				<p>日常生活の中での遊びに関わる学習活動</p> <p>項目 (ア) 日常生活の遊びで、友達と関わりをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊ぼうとすること。 (イ) きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けること。</p> <p>学習内容 ・友達と一緒にルールのある遊びを楽しんだり、共通の関心をもつ友達と一緒に楽しんだりする中で、約束や役割を分かって遊ぶことができるようになる 【いろいろな遊び】順番を守ったり交代をしたりするなどの約束や、勝ち負け、役割などが分かること、友達と一緒にルールのある遊びを楽しむこと 【遊具の後片付け】収納方法や収集場所が分かり、自分から進んで遊具を片付けること</p> <p>単元例 《主な遊び、遊具》 しっぽ取り、ボーリング、爆弾ゲーム、ポッチャ、段ボール崩しなどの遊びで個人戦やチーム戦を行い、得点を競う 『どっちが勝ったかな』 個人戦やチーム戦を行う。得点表を見てどっちが勝ったか判断する。</p>	

項目	1段階		2段階		3段階		項目	小学校・小学部	中学校・中学部
	内容		内容		内容				
生活や家庭に関する内容 オ 人との関わり	小さな集団での学習活動		身近な人と接することなどに関わる学習活動		身近なことを教師や友達と話すことなどに関わる学習活動		オ 人との関わり 生活		
	項目 (ア) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとする事。 (イ) 身の回りの人との関わり方に興味をもつこと。	項目 (ア) 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする事。 (イ) 身近な人との接し方などについて知ること。	項目 (ア) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対などをしようとする事。 (イ) 身近な人との簡単な応対などをするための知識や技能を身に付けること。	学習内容 ・自分自身のことや身の回りにいる人の存在に気付き、挨拶などの初歩的な関わりを経験する 【自分自身と家族】自分自身や家族のことが分かること、簡単な紹介をすること。 自分名前を呼ばれたときに身振り、表情、挙手や発声などにより返答すること 【身近な人との関わり】担任教師や友達、親戚、隣人などの名前を覚えたり、挨拶をしたりすること、 見聞きしたことについて会話を楽しむこと 【電話や来客の取次ぎ】電話の取次ぎや来客への対応を適切に行う 【気持ちを伝える応対】気持ちを表す言葉があることが分かり、自分なりに表現することや、 それらを含めた挨拶などを習慣にする	学習内容 ・家族のことが分かり、簡単な紹介をすることなど、児童の身近な生活に即して、関わり対象を徐々に広げていく 【自分自身と家族】家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりする 【身近な人との関わり】担任教師や友達の名前を言ったり、自分から「おはようございます」、「さようなら」などの挨拶をしたりすること、教師等に見聞きしたことや遊んだことを話す 【電話や来客の取次ぎ】人の来訪を伝えたり、電話の取次ぎをしたりして、初歩的な伝言の経験を積み重ねる 【気持ちを伝える応対】適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言うこと	学習内容 ・様々な人の名前を覚えたり、挨拶をしたりすること、見聞きしたことについて会話を楽しむこと、 困っている友達を手伝ったり、友達との約束を守ったりすることや、交際という観点から身近な人に手紙を出すこと 【自分自身と家族】自分自身や家族について、仕事や兄弟姉妹関係などにも触れて簡単に話したり、紹介したりする 【身近な人との関わり】簡単な日常の挨拶や、見聞きしたことや遊んだことを教師や友達と話し合うこと、 学校の出来事を家庭等で話したり、家庭等での会話を学校で話したりすること 【電話や来客の取次ぎ】電話や来客時には「はい、〇〇です」、「今替わります」、「〇〇先生、電話です」、 「〇〇先生にお客様です」などと言って、適切に取次ぎをすること、 校内に設置してある電話を活用し、児童が率先して取り次ぐことができる 【気持ちを伝える応対】多くの人たちと接するようになったときにも、御礼や謝罪などの気持ちを相手に理解してもらえるよう、気持ちをこめて言えること			
	自分自身と家族 / 身近な人との関わり / 電話や来客の取次ぎ / 気持ちを伝える応対	自分自身と家族 / 身近な人との関わり / 電話や来客の取次ぎ / 気持ちを伝える応対	自分自身と家族 / 身近な人との関わり / 電話や来客の取次ぎ / 気持ちを伝える応対	『自己紹介をしよう』 ・好きな活動を教員と一緒に発表する。発表者に注目する。 『学校探検をしよう』 ・学校内を回り、すれ違った教員や、各教室の友達や教員にあいさつをする。	『友達紹介をしよう』 ・友達の名前を言ったり、名札を渡したりして紹介する。 『学校探検をしよう』 ・友達、養護教諭や用務員の先生などにあいさつをしに行く。 『あいさつを学ぼう』 ・時間ごとに変わるあいさつ「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」を学ぶ。 『気持ちを伝えよう』 ・「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉をどんな時に伝えるのか、動画を観たり、劇を見たりして考える。	『家族を紹介しよう』 ・家族について一人ずつ写真や絵で紹介する。 『思い出伝えよう』 ・昨日、1週間、休み中などの家族や学校での思い出について、写真や絵で発表する。 ・学校であった出来事を写真や絵、文章で日記に表し、家族に伝える。 『電話をしよう』 ・電話の内容を考えて、教員や家族に電話をする。			
単元例	単元例	単元例	単元例	単元例	単元例				

思考
判断
力
表現
力
等
知識
技能

		1段階		小学部 2段階		3段階		小学校・小学部	中学部への移行
項目		内容		内容		内容		項目	
思考 判断 力 表現 力等 ・ 知識 技能	生活 や家 庭に 関す る内 容	力 役割	学級等の集団における役割などに関わる学習活動	学級や学年、異年齢の集団等における役割に関わる学習活動	様々な集団や地域での役割に関わる学習活動				
			項目 (ア) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとする事。 (イ) 集団の中での役割に関心をもつこと。	項目 (ア) 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする事。 (イ) 簡単な係活動などの役割について知ること。	項目 (ア) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする事。 (イ) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けること。				
			学習 内容 【集団の参加や集団内での役割】いろいろな行事に参加すること、 集団の中で自分の役割を果たすこと 【地域の行事への参加】地域の行事に参加すること、そこで自分の 役割を果たすこと、 地域の行事を楽しむこと 【共同での作業と役割分担】簡単な作業を共同で行うこと、作業に いて分担された個人の役割を果たすこと	学習 内容 集団活動において、児童が受け持った役割のことである。役割を果 たす経験を積み重ねること 【集団の参加や集団内での役割】集団活動で簡単な係活動を果 たすこと 【地域の行事への参加】地域の行事に参加し、簡単な買物をし たり、地域の人たちと一緒に活動したりする 【共同での作業と役割分担】友達と一緒に作業に取り組む際には 互いに協力して楽しく作業に取り組む、 様々な集団の中で簡単な役割を果たしたり、 友達と協力して活動や作業に取り組む	学習 内容 ・家庭や地域での役割等、学校生活以外の場においても、児童が 集団活動に参加する機会を広げ、 様々な人と一緒に、協力しながら自分の役割を果たす 【集団の参加や集団内での役割】児童が積極的に様々な集団活 動に参加し、活動の準備や 活動における役割を主体的に果たしてい く。集団活動では、 様々な役割があることを知り、他の係を 意識しながら活動の 見通しをもって、自分の役割を果たす 【地域の行事への参加】友達と一緒に行事に参加し、主体的に地 域の行事の催物などを楽しんだり、 地域の人たちと協力して、行事の準備や後片付 けをしたりする 【共同での作業と役割分担】作業分担や役割が分かり、自分から 取り組んだり、役割を果たしたりする				
単元 例 『誕生日会』 ・主役(くす玉割り、おもちゃのケーキ作り)、司会、プレゼントを渡す 係に分かれて誕生会を開催する。 『学習発表会』 ・発表内容を知る、練習する、発表する、動画や写真を観て振り返 る。 『お菓子をつくろう』 ・袋から出す係、材料を混ぜる係、焼く係など、一人ひとり係に分か れてお菓子をつくる。	単元 例 『協力してお菓子をつくろう』 ・一人がボウルをおさえて、もう一人が材料を混ぜる等、2人1組で の作業をしながらお菓子をつくる。	単元 例 『クリスマス会を開催しよう』 ・クリスマス会までの準備(材料を集める係、飾りをつくる係、プレゼ ントを包む係、椅子並べ係など)からクリスマス会の進行(司会、音 楽を流す係、はじめ/おわりのことば係など)、クリスマス会の片づけ (飾りをとる係、椅子を片づける係など)と、それぞれの時間に係を 担って、係を意識しながら活動する。							
			集団の参 加や集団 内での役 割 /地域の 行事への 参加 /共同で の作業と 役割分担	集団の参 加や集団 内での役 割 /地域の 行事への 参加 /共同で の作業と 役割分担	集団活動 において、 児童が受 け持った 役割のこ とである。 役割を果 たす経験 を積み重 ねること			力 役割 生活	中学 部社 会科 「ア 社会 参加 ときま り」

項目	1段階		小学部 2段階		3段階		項目	小学部・小学部	小学部への接		
	内容	内容	内容	内容							
思考力 判断力 表現力等 知識技能	生活や家庭に関する内容	ク 金銭の扱い	金銭の扱い / 買い物 / 自動販売機等の利用	金銭の扱い / 買い物 / 自動販売機の利用	金銭の扱い / 買い物 / 自動販売機の利用	ク 金銭の扱い	生活・算数 (小学部・小学部)	中学部職業・家庭科「消費生活・環境」			
			<p>簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動</p> <p>項目 (ア)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすること。 (イ)金銭の扱い方などに関心をもつこと。</p> <p>学習内容 ・買い物などの経験を通して、金銭を扱うことへの意欲や関心を高めていく 【金銭の扱い】金銭を大切に扱うこと、代金を支払うこと、硬貨や紙幣の種類を知ること、種類ごとに分類したり数えたりすること、金銭を無駄遣いしないこと、もらった金銭を保管すること、金銭の遣い道を考えること、遣い道に従って遣うこと 【買い物】買い物をすること、物の買い方を知ること、決まった額の買い物をすること、目的に合う買い物をすること、品物を選んでレジまで持っていく、店の人に金銭を渡す、品物を袋に入れるなどの体験をする 【自動販売機等の利用】教師と一緒に自動販売機を使うこと、身近にある自動販売機の種類を知り利用する、自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことに慣れる</p>	<p>金銭の価値に気付くことや金銭を扱うことなどに関わる学習活動</p> <p>項目 (ア)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くこと。 (イ)金銭の扱い方などを知ること。</p> <p>学習内容 【金銭の扱い】児童が実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る 【買い物】できるだけ自分で買い物をし、「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使うこと、決まった額の買い物をすること、商店などで品物を選んで買う 【自動販売機等の利用】できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できる</p>	<p>価格に応じて必要な貨幣を組み合わせるなどの金銭に関わる学習活動</p> <p>項目 (ア)日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れること。 (イ)金銭の扱い方などの知識や技能を身に付けること。</p> <p>学習内容 ・買い物をするためには、金銭の受け渡しのみならず、人とのやり取りやおつり、レシートの取扱い等、様々な技能を身に付けていくこと、一連の活動に取り組むことにより、自信をもって自分で取り組めること 【金銭の扱い】日常生活では、金銭が必要なことが分かり、金銭の種類ごとに分類して数えたり、必要に応じて両替をしたりすることに慣れること、無駄遣いをしないことや遣い道を考えて遣うこと、必要に応じて銀行などを活用する 【買い物】自分で目的に応じた買い物をすること、「幾らですか」、「〇個ください」などの買い物に必要な言葉を使うこと、簡単なおつりのある買い物をすること、値札を見て買い物をすること、商店などでレジの場所が分かり、代金を支払うこと 【自動販売機等の利用】簡単な自動販売機などを自分で利用する</p>	<p>『お金を触ってみよう』 ・触る、マッチングをする、大きさを比べる、10円/100円で買える商品を知る など</p> <p>『買い物に行こう』 ・教員と一緒に、自分が欲しい商品/お家の人に頼まれた商品を買う。</p> <p>『自動販売機で飲み物を買おう』 ・教員と一緒に、1つの自動販売機で飲み物を買う。</p>	<p>『お金を分類しよう』 ・「10円」など名称が示された箱の中に当てはまる硬貨を入れる。</p> <p>『買い物にいこう』 ・できるだけ一人で、自分が欲しい商品/お家の人に頼まれた商品を買う。</p> <p>『自動販売機で飲み物を買おう』 ・できるだけ一人で、1つの自動販売機を操作し、欲しい飲み物を買う。</p>	<p>『10/100円は何枚必要?』 ・「300円ください」に対して100円を3枚渡す、「10円分を1円でください」に対して1円を10枚渡す など</p> <p>『買い物に行こう』 ・店員とのやりとりを学ぶ。商品に対していくらお金が必要か計算する。一人で自分が欲しい商品/お家の人に頼まれた商品を買う。</p> <p>『自動販売機で飲み物を買おう』 ・一人で、隣り合う複数の自動販売機から自分の欲しい飲み物を買う。</p>	ク 金銭の扱い	生活・算数 (小学部・小学部)	中学部職業・家庭科「消費生活・環境」
			単元例	単元例	単元例	単元例					

項目	1段階		小学部 2段階		3段階		項目	小学部・小学部への接	中学部への接
	内容	内容	内容	内容					
生活や家庭に関する内容 ケ きまり 生活・社会	学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動	順番を守ることや信号を守って横断することなど、簡単なきまりやマナーに関わる学習活動	学校のきまりや公共の場でのマナー等に関わる学習活動						
	項目 (ア) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとする事。 (イ) 簡単なきまりについて関心をもつこと。	項目 (ア) 身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとする事。 (イ) 簡単なきまりやマナーについて知ること。	項目 (ア) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動しようとする事。 (イ) 簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けること。						
	学習内容 ・生活の流れに即して、教師と一緒にきまりを守って行動する経験を重ねていくことで、徐々に慣れたり、習慣化したりする 【自分のものと他人の物の区別】自他の物を区別すること、他人の物を無断で持ち出さないこと、 他人に借りた物は必ず返すこと 【学校のきまり】学校生活におけるきまりを知って守ること、きまりの意義を知り、自発的にきまりを守ること。 決まった場所で靴を履き替えることや、廊下は静かに歩くこと 【日常生活のきまり】日常生活における簡単なきまりを知って守ること、きまりを守りながら進んで施設等を利用する	学習内容 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守れること 【自分のものと他人の物の区別】他人の物や学校の物品を無断で持ち出さないこと 【学校のきまり】学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る 【日常生活のきまり】信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶ 【マナー】正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守れる	学習内容 ・きまりやマナーは、共同生活を成り立たせていくことや地域において安全に生活する上で大切なことであるということが分かる 【自分のものと他人の物の区別】物を適切な方法で貸し借りすること、落とし物を拾ったときは、教師に届けたり、持ち主を探して手渡したりすること 【学校のきまり】必要に応じて簡単なきまりを相談してつくること 【日常生活のきまり】公園や図書館などの公共施設や、電車やバスなどの公共機関を利用する際のきまりを守る。校内や通学路などに設けられている火災報知機や消火器等の非常用設備について、それぞれの役割を理解することや普段はそれらに触れないこと、非常時における使用方法について、およそ理解できるように指導する 【マナー】バスや電車、病院や図書館などでは静かに行動したり過ごしたりするなど、公共の場でのマナーについて指導するとともに、その理由も分かり実際にマナーを守る						
単元例 『自分のものに名前をつけよう』 ・自分の持ち物に名前シールを貼ったり、名前を書いたりする。 『検診を受けよう』(学校検診の事前学習) 椅子に座る・口を開けるなどの流れを知る。「♪おーいお医者さん」のふれあい遊びをする。 『遠足に行こう』 クラスでのきまり、公共施設でのきまりを知る。教員と一緒にマナーを守って道路を渡ったり、公共施設を利用したりする。	単元例 『友達から借りよう』 ・友達が遊んでいるものを借りたい時には「貸して」とお願いする。「いいよ」の時は借りて遊ぶ。「いやだ」の時は時間を決めて交換する。 『遠足に行こう』 できるだけ一人で、クラスでのきまり(まとまって歩く等)や公共交通機関の利用マナーを守る。	単元例 『落とし物を届けよう』 ・落とし物を見つけた時の行動を学ぶ。→実際にやってみる。 『学校のきまりを話し合おう』 ・みんなで守りたいきまりを話し合う。決まったきまりを掲示する。きまりが守れたか定期的に確認する。							

思考
判断
力
表現
力
等
知識
技能

中学部
社会科
「ア
社会
参加
ときまり」

項目	1段階		小学部 2段階		3段階		項目	小学部 学校・小学部	中学部 部への移行	
	内容		内容		内容					
思考 判断力 表現力等 知識 技能	生活 や家庭に 関する 内容 コ 社会の 仕組みと 公共施設	自分の家族や近隣に関心をもつこと及び公園等の公共施設に関わる学習活動	自分の住む地域のことや図書館や児童館等の公共施設に関わる学習活動	自分の地域や周辺の地理などの社会の様子、警察署や消防署などの公共施設に関わる学習活動+S70						
		項目 (ア)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする事。 (イ)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつこと。	項目 (ア)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとする事。 (イ)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ること。	項目 (ア)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現すること。 (イ)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすること。						
		学習内容 【家族・親戚・近所の人】家族や親戚の様子に関心をもつこと、身近な地域に興味や関心をもち、自分との関わりに関心をもつこと、それらの働きを知る 【学校】教室の場所や用途に関心をもつこと、学校で働く人に関心や関心をもち、自分との関わりに関心をもつこと、それらの働きを知る 【いろいろな店】店の種類が分かること、店の名前を言うこと、それぞれの店で売っている品物が分かる 【社会の様子】自分が住んでいる地域の自然や街の様子に関心をもつこと、自分が住んでいる地域の自然や街の様子の特徴が分かること、自分の住んでいる地域の名称、住所が分かること、地域や社会の出来事に興味や関心をもつ 【公共施設の利用】公共施設を利用する、公共施設の名称を言う、公共施設の場所が分かる、公共施設の役割が分かる 【交通機関の利用】交通機関の名称や利用方法、目的地まで行くための交通機関を知る	学習内容 ・絵や文字、写真などを使って地図上に表現する地域マップづくりなど、実際に行った公共施設や交通機関の場所や名称、およその働きなどについて、教師に援助を求めながらも、自分なりの方法で伝える経験を重ねる 【家族・親戚・近所の人】家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに對して関心を広げていく 【学校】学校にある教室の名称や主な用途が分かることともに、学校で働く様々な人に関心をもつ 【いろいろな店】教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】自分が住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもち、およその名称などを知るとともに、自分の生活との関連について知る 【公共施設の利用】図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる 【交通機関の利用】電車やバスなどを利用し、切符を購入したり料金を支払ったりすることなどに慣れるとともに、いろいろな交通機関があることを知る	学習内容 ・調べ学習等を通して、公共施設等の名称やその特徴を知るとともに、それらが社会で果たしている役割や働きについても関心を高める ・児童が必要に応じて公共施設や交通機関などを活用できる力を育てていく 【家族・親戚・近所の人】家族や親戚、近所の人々の名前を言ったり、家族の職業や身近に見られる職業が分かったりする 【学校】学校で働く人と自分との関わりに関心をもつこと、それらの働きを知る 【社会の様子】自分の住む地域や隣接する市町村の名称が分かること、自分が住んでいる地域や周辺の地域の田畑、大きな河川、港湾、商業地や工業地、住宅地などのおよそが分かる ・地域で見られる産業にも関心を深め、その働きを知ること ・テレビや新聞、インターネット等で身近な社会の出来事を知り、関心をもつこととともに、国民の祝日に関しても、そのおよその意味を分かること 【公共施設の利用】警察署、消防署などを実際に訪問したり、見学したりして、社会の一員としての利用の仕方を知るとともに、およその仕事の様子が分かる 【交通機関の利用】日常的に利用している電車やバスなどの切符を自動券売機などで買うことや、電車やバスを一人で利用して通学に慣れたり、目的地までそれらを確実に利用できたりする ・交通機関が遅延した際の対応方法や校外学習時の目的地までの交通機関を知る						
単元例 『夏休み/冬休みまでを振り返ろう』 ・動画や写真を見る。写真を何枚か選び、振り返りシートに貼る。 『前期/後期を振り返ろう』 ・動画や写真を見て、キャリアパスポートを作成する。 『暑中お見舞い・年賀状を出しに行こう』 ・はがきに色を塗ったり、スタンプしたり、シールを貼ったりする。ポストに出しに行く。 『電車/バスに乗ろう』 ・目的地に行く方法(乗り物)を知る。教員と一緒に公共交通機関を利用して目的地まで行く。	単元例 『学校のまわりを知ろう』 ・学校の周りを探検して写真を撮る。地図に写真を貼ったり、名称を書き入れたりして学校マップを作る。 『夏休み/冬休みまでを振り返ろう』 ・動画や写真を見る。写真を選んだり、感想を書いたりする。 『電車/バスに乗ろう』 ・目的地に行く方法(乗り物)を知る。料金の支払い方法を知り、練習する。できるだけ一人で公共交通機関の料金を支払って、教員と一緒に目的地まで行く。	単元例 『地域のいいところをまとめよう』 ・地域の様子や、特産物、有名なものなどを調べてまとめる。 『警察署や消防署に行こう』 ・警察署や消防署のはたらきについて知る。実際に見学する。感想をまとめて発表する。 『目的地までの行き方を知ろう』 ・インターネットなどで目的地までの行き方を調べてまとめる。まとめた資料をもとに公共交通機関を利用して目的地まで行く。								

中学部
社会科
「イ
公共施設
と制度」
「ウ
地域の安全」
「エ
産業と生活」
「オ
我が国の地理や歴史」

生活・社会

項目	1段階			2段階			3段階			項目	小学校・小学部	中学校・中学部への接続		
	内容			内容			内容							
思考 判断 表現 力等 知識 技能	中学 部 に お け る 理 科 に つ な が る 内 容	サ 生 命 ・ 自 然	教師と一緒に公園や野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動			小動物等を飼育し生き物への興味・関心をもつことや天候の変化、季節の特徴に関心をもつことなどに関わる学習活動			身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花などの栽培及び四季の変化や天体の動きなどに関わる学習活動			サ 生 命 ・ 自 然	生 活 ・ 理 科	中 学 部 理 科 「 A 生 命 」 「 B 地 球 ・ 自 然 」
			項目	(ア) 身の回りにある生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする事。 (イ) 身の回りの生命や自然について関心をもつこと。		項目	(ア) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとする事。 (イ) 身近な生命や自然について知ること。		項目	(ア) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現すること。 (イ) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べること。				
			学習内容	【自然との触れ合い】身近な自然の中で遊ぶこと、自然を利用した遊びをすること、校外学習などの際に自然に親しむ、公園、川、野山、海などで楽しく遊び、自然の事物や事象に触れ、生き物などに興味や関心をもつ 【動物の飼育・植物の栽培】身近に生息する小動物や草花を探したり様子を観察したり、触れたりして、それらに関心をもつこと、世話をしたり、育てたりして、成長や変化に気付く 飼育している身近な動物や栽培している植物に興味をもったりする 【季節の変化と生活】天気や空の様子に関心をもつこと、四季の特徴や天気の移り変わりに気付くこと、地域の行事と季節の関係について知ること 晴れや雨などの天候の変化に気付く		学習内容	・児童が、植物の色や形、生き物がいるところや食べ物などに意識的に着目し、その変化を捉えることができる ・教師の援助をもとめながら、飼育や栽培等を通して、生命や自然の特徴や変化が分かるとともに、感じたこと、気付いたことなどを自分なりの方法で伝える経験を重ねる命あるものの存在を知る 【自然との触れ合い】自然の事物や事象に触れ、自然がその姿を変えることが分かったり、動物の動きなどに興味をもったりする 【動物の飼育・植物の栽培】小動物を飼育し、生き物への興味や関心をもつこと、飼育動物のために、校庭の草を刈ったり、給食室に野菜くずをもらいに行ったりする 【季節の変化と生活】天候の変化や、太陽、月、星などと昼夜との関わりに関心をもつこと、冬は寒く夏は暑いなどの季節の特徴に関心をもつ		学習内容	・日常で関わりのある生命や自然の特徴や変化について、児童が自分なりの考えをもつこと、そして、比べる、分類する、といった多様な学習活動を通して、気付いたこと、分かったことなどを表現する力を育てていくこと 【自然との触れ合い】草木、木の実、落ち葉などを集めたり、形や色などの特徴をつかんだり、植物の変化を捉えたりすること、自然の事象として天候の変化などについて学習する 【動物の飼育・植物の栽培】身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花などを栽培しながら関心を深めること、動物を飼育する場合は外敵の防止や気温の変化などに十分配慮し、飼育環境を整えること、植物を栽培する場合は、発芽、開花、結実といった一連の成長の様子が分かるような種類を選び、長期にわたる観察を行うこと、適時、除草したり、肥料を施したりする 【季節の変化と生活】天気予報や台風などの情報に関心をもつこと、太陽の出没の方向や月の満ち欠けなどを観察すること、四季の変化に関心をもつこと、季節と行事の関係に関心をもつ				
単元例	『草花あそび』 ・花かんむり、草相撲、猫じゃらし、色水などの遊びに触れる。 『草花さがし』 ・校庭や公園で草花を観る、触る。 『種/苗植え』 ・サツマイモ、トマト、ナス、ピーマン、インゲン、朝顔など ・土を触る、水やり、ツルを支柱に巻く、引っ張る、収穫する、切る、食べる、遊ぶ(野菜スタンプ) 『紅葉をつくろう』 ・ちぎった画用紙やお花紙、どんぐり、松ぼっくりを入れ物に入れる。紙で遊んだり、入れ物の中からどんぐりや松ぼっくりを探したりする。 『夏祭りをしよう』 ・盆踊り、提灯づくり、魚釣り、輪投げ、射的、的当て、スイカ割り		単元例	『種/苗植え』 ・写真での成長記録を見る、草むしり、支柱を立てる、間引きをする(サツマイモ、トマト、ナス、ピーマン) 『クリスマスあそびをしよう』 ・スヌーズレン室でイルミネーションやひんやりした冬の雰囲気を楽しむ。		単元例	『葉っぱの1年をまとめよう』 ・校庭にある観察しやすい草木をみつける、または植物を育てる。1年間定期的に写真を撮ったり、絵に表したりしてまとめる。葉っぱや実の変化に気付く。 『生き物を育てよう』 ・クラスで育てたい生き物を決める。生き物の特徴や飼育環境を調べる。飼育日記をつける。 『四季に分けよう』 ・草花、食べ物、色などを四季に分ける。各季節が来た時に答え合わせをする。							

項目	1段階		小学部 2段階		3段階		項目	小学部・小学部	小学部への接続	
	内容	項目	内容	項目	内容	項目				
思考力 判断力 表現力等 知識技能	中学 部における 理科につ ながる内 容 シもの 仕組みと 働き	身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動	(ア) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする事。 (イ) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつこと。	身近な生活の中で、ものの仕組みなどに関わる学習活動	(ア) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとする事。 (イ) 身近にあるものの仕組みや働きについて知ること。	日常生活の中で、ものの仕組みなどに関わる学習活動	(ア) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現すること。 (イ) もの仕組みや働きに関心をもって調べる事。	シもの 仕組みと 働き	生活・ 理科	中学 部理科 「C 物質・ エネル ギー」
		学習内容 ・児童が身の回りにあるものの仕組みや働きを感覚的に捉え、見たこと、感じたことなどを教師と一緒に伝える経験を重ねること 【物と重さ】物の重さに関心をもつこと、物には重いものと軽いものがあることに気付くこと、物は形が変わっても重さは変わらないことに気付くこと、容器に入れた水の量の違いにより、「重い・軽い」という感覚を経験する 【風やゴムの力の働き】風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつこと、風やゴムの力は、物を動かすことができることに気付くこと、風やゴムの大きさを変えると、物が動く様子も変わることに気付く紙コップロケットといったゴムの力を利用した簡単なおもちゃを用いる	学習内容 ・児童が身近にあるものの仕組みや働きを意識的に捉え、感じたこと、気付いたことなどを、自分なりの方法で伝えることによって、物の性質やエネルギーなどの目には見えないものの仕組みや働きの存在を知る 【物と重さ】天秤、ばね秤、台秤といった道具を活用すること 【風やゴムの力の働き】風やゴムの力は、物を動かすことができることに気付く。色紙や色テープを使って風によって起こる空気の流れを視覚化する	学習内容 ・日常場面で見られるものの仕組みや働きについて、自分なりの考えをもつこと、そして、比べる、試す、といった多様な学習活動を通して、気付いたこと、分かったことなどを表現する力を育てていく 【物と重さ】粘土などの身の回りにあるものを広げたり、丸めたりするなどして形を変え、手ごたえなどの体感をもとにしながら重さの違いを調べる 【風やゴムの力の働き】ウインドカーといった風の力を利用したおもちゃづくりなど						
		物と重さ/風やゴムの力の働き 『水で遊ぼう』 水中に手足を入れる、ウォーターベットに寝る、水の入った袋を触る、水鉄砲、氷ホッケー、穴が開いたホース、霧吹き、じょうろ、ビニールプールなどで遊ぶ。 『風であそぼう』 扇風機などを利用して、風船、シュレッダー片、和紙を上から落としてつつく/つかむ、ボール遊びなどで遊ぶ。 『かえる/うさぎのおもちゃをつくろう』 ・牛乳パックとゴムを使った、ぴょんと跳ねるおもちゃを作って遊ぶ。	物と重さ/風やゴムの力の働き 『重いどっち?』 ・同じ大きさの、重さが異なるものを持ってみる。→天秤などの道具を使うと重さが視覚的にわかることを知る。 『風を感じよう』 ・紙吹雪を扇風機で飛ばしてみる。扇風機にテープを付けると風が吹いている方向が見えることを知る。 『ゴム鉄砲をつくろう』 ・割りばしとゴムを使って、ゴム鉄砲をつくって遊ぶ。	物と重さ/風やゴムの力の働き 『粘土で比べよう』 ・同じ素材の粘土で重さを比べる。紙粘土と油粘土で重さを比べる。 『風で動くおもちゃをつくろう』 ・紙コップ、つまようじ、ストローを使って「紙コップ風車」 ・紙皿、空き缶、紙を使って、「風で走る車」						
単元例	単元例	単元例								